



平成30年 4月10日(火)

ユネスコスクール

高山村立

高山小学校だより No.1

〒382-0831 上高井郡高山村大字高井 3455



新しい学校長が着任しました



4月2日、高山小学校に、小林暢（こばやし とおる）校長が着任しました。山岸深志教育長さんから紹介していただき、職員代表・児童会長・PTA会長さんから、それぞれ温かい歓迎の言葉をいただきました。その後、小林学校長の挨拶で、皆がとても元気になりました。これから、小林学校長を中心に、全職員一丸となって高山小学校の子どもたちのために頑張って参ります。よろしくお願いたします。

☆始業式 ～学校長のお話より～

新1年生を迎える前に、平成30年度一学期の始業式が行われました。小林暢校長先生より、チューリップの歌の歌詞（花の色）から2つについて、「(赤) ①げんきな**あ**いさつ：みんなであいさつで心と心を通い合わせながら元気のある学校を作っていきます。(黄) ②**き**く：先生の話の聞く勉強がよく分かります。友だちの話の聞くと友だちのことも分かります。一緒に学び合うと勉強もより分かります。また、チューリップの花言葉は「思いやり」です。「♪どの花見てもきれいだな」のように、一人一人他の人と違う良さや可能性を探してください。そして、一緒に成長していきましょう。」のお話がありました。校長先生のお話を聞いて、全校児童が希望を持って一学期のスタートをすることができました。

祝 入学おめでとう

☆村の宝 新入生60名が元気に入學

入学式では、元気いっぱいのピカピカ1年生が、保護者の皆さんやたくさんの来賓の皆さんに見守られて、高山小学校の仲間入りをしました。村長さん、教育長さん、PTA会長さんからお祝いの言葉をいただきました。



学校長からは、「**あ**いさつ、**い**っしょうけんめい、**う**んどう・うたごえ、**え**がお、**お**そうじ」を大事にしてほしいという歓迎と激励の言葉が贈られました。これから始まる義務教育9年間のスタートを切りました。1年生を在校生と先生方が心より歓迎し、高山村の宝として大切に育てていきます。

昨年度は、児童会を中心にあいさつ運動に一生懸命取り組みました。おかげで元気で爽やかなあいさつができる子が増えてきました。あいさつが飛び交う学校はみんなが仲良くなっていじめが起きにくくなります。人の話が良く聴ける人は、相手のことを思いやれる人です。友だちとたくさん遊べる人は、自分のことも相手のことも考えて行動する経験がたくさんできます。みんなが仲良く、協力し合って、安心安全に学校生活がおくれるように、職員も精一杯努めていきたいと考えます。



☆チーム高山' H30がスタートしました！

本年度も学校目標は『ひとりだち ともぞだち』です。

子ども達にも分かりやすくした合言葉は次通りです。

たくましく：課題をもち心も身体もたくましく意欲的に取り組む子どもに。

かしこく：学力・体力・心身共に成長する子どもに。

やさしく：思いやりの心をもち自分や友だちを大切にする豊かな心を持った子どもに。

まなびあう：学び合い認め合い磨き合いながら、共に成長する子どもに。

これらの目標に向かい、教師も児童もみんながチームになって頑張ります。

保護者の皆さんと力を合わせ、情報を共有しながら子ども達が未来を切り拓くお手伝いをさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

たくましく

かしこく

やさしく

まなびあう

☆ようこそ 高山小学校へ

新しい先生方、よろしくお願い致します！



小林 暢	校長先生	飯山市立常盤小学校より
松澤 裕子	教頭先生	須坂市立井上小学校より
川島 文恵	先生	須坂市立日滝小学校より
高木 学	先生	須坂市立仁礼小学校より
小林 詩織	先生	初任者
富永 有希	先生	小布施町立栗ガ丘小学校より
畔上 はつ江	先生	長野市立柳原小学校より
上野 浩	先生 (初任研指導員)	須坂市立日野小学校より

H29年度末、7名の職員が転任退職し寂しい思いを

しましたが、H30年度、新たに8名の職員が参りました。新任職員は、高山小学校の皆さんと一緒に勉強できることをとても楽しみにして赴任しました。日本で一番美しい村のすてきな小学校で、明るく素直で元気な子どもたちと、どんなドラマがまっているのかわくわくドキドキです。よろしくお願いいたします。

初任研指導員は、毎週金曜日に来校し、初任者の小林詩織教諭の指導にあたります。初任者研修として、年間15回程度の出張研修がありますが、校内で補教体制を組み、5年2組の授業の進度に支障のないように配慮していきます。

全職員の組織等につきましては、学校要覧にて後日全家庭に配付致します。新任職員を含め、全職員、一致団結して本校の児童の健やかな成長を支援します。

☆おねがいとお知らせ

(1) 下校時刻について

年度当初ですので、下校時刻について確認します。行事等で変更もありますので、具体的なことについては、その都度各学年だよりをご参考ください。なお、1年生はしばらく早いお帰りになります。下記時刻の適用は、学年からの連絡に従ってください。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
月曜日	3:05			3:55		
火曜日	3:05	3:55				
水曜日	3:05			3:05 (児童会・クラブがある時は3:55)		
木曜日	3:05	3:55				
金曜日	3:05			3:55		
5月1日(月)	1:30					
家庭訪問中	12:50	12:50		12:50	12:50	
家庭訪問がない学年			3:05			3:05

(2) 本校は、校内に**人権ハラスメント委員会**を設置しています。教職員や児童の間のいじめや人権・セクハラに関する事等、気になることがありましたら是非、ご一報ください。連絡窓口は、保健室（養護教諭 中村礼子）です。その他学校のことやお子さんのことなどで心配なことや学校の活動などについて質問等ありましたら、連絡帳を活用いただきご記入ください。電話でもよいです。また子どものよさ等がありましたら、それも是非、情報をお寄せください。よい点も、改善したい点も、子どもを取り巻くみなさんと共有し、連携していけたらと思います。自尊感情が高い子は、人の優しさを信じられる子です。そういう子はいじめをしない、学力も高い傾向があります。子どもの良いところ、良くなったところを見逃さない指導を、学校と家庭が連携して心がけましょう。

(3) **スクールカウンセラー**は、昨年同様大草先生です。毎週木曜日に来校します。カウンセリングを希望する場合は、養護教諭・担任などに遠慮なく申し出てください。日程を調整させていただきます。

(4) 個人情報について

本校は、一村一校の小学校であることもあり、村当局はじめ、新聞やテレビ等のメディアからの取材を受けることが多く、各行事においてはケーブルテレビ等の映像取材もあります。また、さまざまな作品展等に児童の作品が出品され、氏名の掲載もあります。ホームページでも学校だよりや行事等の情報が掲載されます。それらは個人情報ですので、写真や映像、氏名等について支障のあるご家庭は、担任を通じて掲載等の不可の内容をお伝えください。特に連絡がない場合は、ご承諾いただいたものとさせていただきます。

(5) ボランティアの随時募集について

本校は、地域に根ざし、地域の皆さんと力を合わせて教育活動にあたる、高山村共育コミュニティに参画しております。読み聞かせや書写・給食・清掃支援、授業支援・川柳教室やあそび、語らいなど様々な学

校支援ボランティアの皆さんに来校いただき、教育活動を支えていただいております。PTA 活動の一環として、無理なく楽しんでやっていただく体制を整えております。これからも継続していただけるとありがたいです。ボランティアは随時募集しておりますので、ご希望があればいつでも教頭や職員に声をかけてください。ボランティア登録用紙は職員室入り口に設置してあります。

(6) **わくわく村の申し込み**について

本校の大きな魅力であり特色でもある「わくわく村」は、親子のふれあい教養・体験講座です。今年度も間もなく日程が示され、申し込みができるようになります。どの親子も1講座以上申し込むことができます。ご希望の範囲内でいくつでも大丈夫ですので、申し込みをお待ちしております。ただし、申込が偏ったり多すぎたりする場合は調整させていただく場合もあります。よろしくお願いいたします。

(7) **長野県教育委員会の体罰等相談**について

高山小学校職員は、スピード違反・飲酒運転・体罰やスクールセクハラなどの非違行為のない学校を心がけて職員研修や学習会を積み重ねております。県教育委員会でも以下の相談窓口がありますのでご承知おき下さい。

★県教育委員会では、「体罰に関わる相談窓口」を設けています。

下記まで、封書、電話、ファックス、メール等で相談ができますので、ご活用ください。

宛 先	長野県教育委員会義務教育課 「体罰に関わる相談窓口」宛
住 所	〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2
電 話	026 - 235 - 7426 (直通)
F A X	026 - 235 - 7494
E-mail	taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp

(8) 高山小学校は「**ユネスコスクール**」です。

高山小学校はユネスコスクールに認定されてから4年目に突入しました。昨年度は県内の ESD を推進する学校や団体が集まって「信州 ESD コンソーシアム」成果発表会に3年生の有志が参加してきました。今までのふるさと学習をはじめとする取り組みや高山村の魅力についての発表をしてくれました。県内ではまだまだ少数のユネスコスクールですが、今後どんどん増えると予想されます。本校はユネスコスクールの先進校として県内の ESD を牽引していく責務を担っております。特に次の2つを大事にしていきます。

- ① ふるさとの良さを知り、その魅力を支えたり発信したりして、大人の方々の生き方に触れる体験活動を重視したふるさと学習を展開する。
- ② 他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育む。

分かり易く言い換えると、「高山村の豊かな自然や風土や歴史・文化の良さに触れ、誇りとし、村内外の人々と積極的に交流し関わり合いながら、美しい自然や文化を守り尊重し、共に豊かに生きていくことのできる人間性を育成する学校」ということです。この村で生まれ育つことは、子どもたちにとって何ものにも代え難い貴重な財産であり、生涯にわたってアイデンティティとして心の根っこに据えられていくはずで、高山小学校では、教育活動を行う際にそういう視点を大事にしていきます。昨年度は、本校のこのような取り組みに対して村外から多くの賞賛の声をいただき励ましていただきました。今年度も、学校・保護者・地域がスクラムを組み、未来を担う子どもたちのために、共に教育活動を推進していただきますよう、お願い申し上げます。